

国民への普及啓発に関するこれまでの 検討会における主な意見と論点

<国民への普及啓発に関するこれまでの検討会における主な意見のまとめ>

○ 普及啓発の対象

- ・若い時や健康な時から、話し合いを進めていく必要がある。 等

○ 普及啓発の内容

- ・どう死ぬかではなく、どうより良く限られた時間を生きていくかを考えることが大切である。
- ・本人だけでなく、家族や地域等、身近な周りの人と一緒に考え、気軽に繰り返し話し合うことが必要である。
- ・周りが、本人にとっての価値感や人生観を知ることが大切である。 等

○ 普及啓発の方法

- ・病気の人と健康な人は分けて介入を考えた方が良いのではないか。
- ・地域にて、身近な人と話し合う環境を作り上げることが必要ではないか。
- ・学校教育や医療職・福祉職等への教育をどのように進めていくか。 等

○ その他

- ・話合った内容の共有や継続した話し合い、書面の取扱いについて、どのように普及していくかを検討する必要がある。
- ・ACPの普及のため、ACPの概念・理念を国民に分かりやすく、伝わりやすい言葉を検討する必要がある。 等

<論点>

- ・人生の最終段階だけでなく、若い方や健康な方を含む全世代の国民に、普及啓発の実施について、どのように考えるか。
- ・人生の最終段階の医療に関心の無い人や、生死に関する議論をタブー視している人を含めて、地域で話し合いを進めるにあたり、どのように取り組むべきか。
- ・年齢や健康状態によって、普及の内容や方法で工夫すべき点はあるか。(医療・福祉・教育・行政の取組)
- ・その他、広く国民に普及啓発していくにあたり、検討しておくべき事項は何か。